

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれんどクラブたんぼぼ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月7日 ～ 令和7年2月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年2月7日 ～ 令和7年2月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体育館を使用している為、天候に関係なく様々な課題に取り組むことが出来る。	運動課題や集団行動、集団あそび等広い空間を利用した課題を行っている。	感染症対策は常に考え、療育を行っていく。悪天候時でも利用児の体調を考慮しながら体を動かせるように工夫し、取り組んでいく。
2	利用児の状態を常に把握し、保護者と情報の共有が出来るようにしている。	利用児の状態を常に観察し、普段と違う様子等がみられた場合、お迎えや送迎時に保護者に伝える。	保護者面談を随時行い、利用児の状態を把握・共有する。
3	保護者と利用児のニーズ、課題を客観的に分析し、適切な支援計画の作成を行っている。	利用児の意思、保護者のニーズに沿った目標を職員間で話し合い、設定している。	お友達とのやりとりや、ペースを合わせる、話を良く聞いてから行動する等、利用児が今後社会に出た際に必要なことを取り入れる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちと活動する機会がほとんどない。	事業所の近隣に学童や児童館が少なく、一緒に活動できる時間帯が設定できていない。	土日祝日は営業日ではない為、法人行事等の際に一緒に出来る活動が出来たら良いと思う。
2	父親の会又は兄弟同士の交流の場を設けられていない。	年2回の保護者懇談会や見学週間、保護者参加日を設けているが、平日であるため父親や兄弟の参加が難しい。	利用児の降所が終わった後に研修会や動作法などの実演を行う。
3	ホームページやSNS等で活動を発信できていない。	災害による避難訓練や不審者対応訓練等を行っているが、保護者に伝えきれていない。	法人内の放課後等デイ（ふれんどクラブたんぼぼ・すまいるキッズたんぼぼ）でSNSによる広報活動を行う。